

※14世紀の情勢

(a) 日本…他国と正式な国交なし 元とは私貿易のみ

<例> 1 建長寺船^{ぶね}[1325](修理費用：鎌倉幕府)、2 天童寺船^{ぶね} [1342](築造費用：3 足利尊氏・直義)

(b) 4 倭寇 (5 前期倭寇)…商人・武士の海賊行動 ※「元寇の報復」説あり

時期 14世紀中～後期 拠点 6 対馬・杵岐・肥前松浦^{さんとう}(三島倭寇)

活動 7 朝鮮半島及び中国北部の沿岸で、人・米・金品などを略奪

…高麗は日本に禁圧要請→効果なし →高麗衰退 →滅亡

(c) 8 明 の成立[1368]…9 洪武帝(朱元璋)建国 漢民族国家の復活

→10 伝統的国際関係(冊封体制)の復活・私貿易の禁止(11 海禁 政策)

12 朝鮮 の成立[1392]…13 李成桂^{リセイケイ}が建国 ←

義満の東アジア外交 ※最後の遣唐使(838年)以来560年ぶり

目的 倭寇禁圧(明・朝鮮)・貿易の利益(日本)

【明】 14 1401 . 15 義満、16 祖阿^{そあ}(側近の僧侶)、17 肥富^{こいづみ}(商人)らを派遣

義満は「18 日本准三后」と自称

→1402. 返書に「19 日本国王源道義^{みなもとのどうぎ}」 →1403. 「20 日本国王臣源^{しんみなもと}」と自称…明への臣従(21 冊封)

特色 22 朝貢 貿易…「朝貢」と「返礼」、滞在費・運搬費は明が負担→大きな利益

23 勘合 貿易…24 勘合を使用(貿易の統制、倭寇との区別) 25 勘合船(遣明船)とよぶ

本字勘合(日本船)と日字勘合(明船) 26 寧波^{ニンポー} で勘合の照合→北京で交易

【朝鮮】 義満、国交樹立[1401]

特色 27 対馬の宗氏の統制下

28 通信符や図書(通行証)を使用

頻繁な交易 西国守護大名・商人の参加

沖縄と北海道

沖縄 29 グスク時代(12～15世紀)→30 山北・中山・山南の3王国→31 中山王 32 尚巴志 が統一

…33 琉球 王国[1429] 首都34 首里 35 那覇港(首里の外港)の繁栄

☆琉球貿易…東・東南アジア諸国間の36 中継 貿易で繁栄(←明の海禁政策)

→衰退(16世紀半ば～)…37 ポルトガル商人の進出と明の海禁政策の緩み

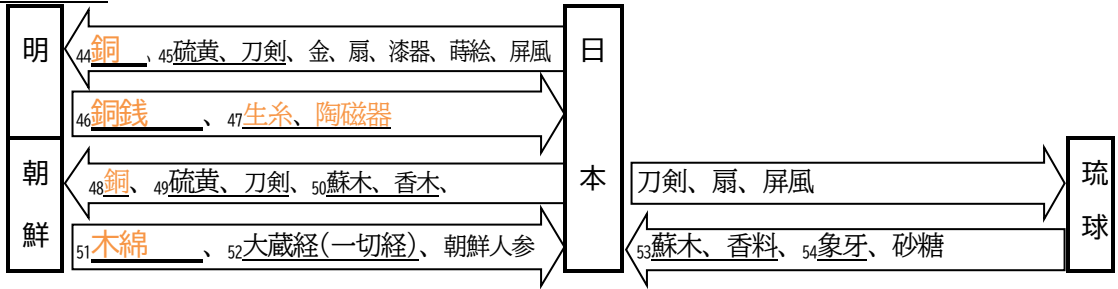
北海道^{エゾ}(蝦夷ヶ島) 14世紀頃から 38 和人^{シヤモ}が南部に進出→沿岸に居留…39 道南十二館^{たて} <例>40 志苔館^{しのりだて}

アイヌとの交易で利益 <例>41 十三湊^{とさみなと}…交易で繁栄した津軽の港町

→次第にアイヌを圧迫→1457. 42 コシャマイン の戦^{かきざき}→43 蠣崎氏(安藤氏の代官)により鎮圧

…アイヌ諸部族の蜂起の中心となった大首長

貿易の内容



その後の展開

≪明≫ 15C前半まで 幕府主導(重要な財源)

義満：積極的(6年で6回) → 55 **義持**：朝貢形式を嫌い義満の死後、56 **中止**[1411~32]

→ 57 **義教**：再開[1432~]…以後、ほぼ10年に1回、3隻300人

15C後半以降 実権は有力守護大名・商人に移る

58 **細川** 氏・59 **堺** 商人 ↔ 60 **大内** 氏・61 **博多** 商人

1523. 62 **寧波の乱** …両者が衝突→大内方勝利→以後、貿易を独占

63.1551. 64 **大内氏滅亡** →貿易は途絶える

≪朝鮮≫ ☆貿易港：65 **富山浦** (釜山)・66 **乃而浦**(齊浦)・67 **塩浦**(蔚山)…68 **三浦** と総称

☆69 **倭館** …朝鮮が日本使節接待のため、漢城と三浦に設置 多数の日本人が居留

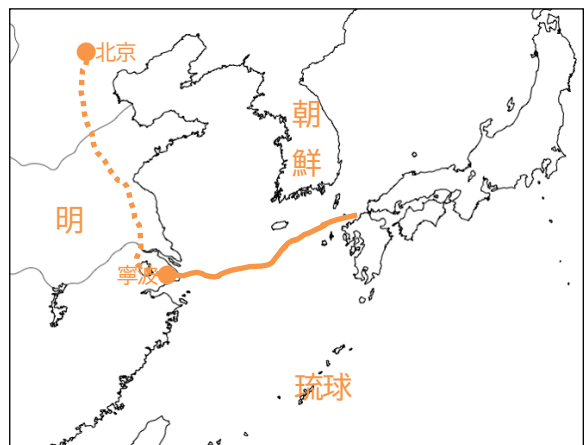
70.1419. 71 **応永の外寇** …朝鮮軍による対馬(倭寇の根拠地)襲撃

日朝貿易中断 →1423. 国交回復

72.1510. 73 **三浦の乱**…三浦の居留日本人の暴動(特権の縮小に反発) →以後、日朝貿易は衰退

≪74 **後期倭寇**≫ 16C後半 中国南部・南海地方で活動 75 **明の密貿易者**が大半

→1588. 76 **豊臣秀吉**による禁圧(77 **海賊取締令**)



作業 図表143~144ページを見て、
寧波、漢城、北京、塩浦、富山浦、乃而浦、
琉球を記入しなさい。

時代順問題練習 <大学入試センター2014年B追試験>

I ③ガビエルが、大内氏の城下町山口中で布教を認められた。**戦国**

II ①沖縄本島で、グスクを築くような按司とよばれる有力者が現れた。**鎌倉以前**

III ②コシャマインの蜂起により、蝦夷地南部の館が陥落した。**室町**

日本史授業プリント中世1 4 (042) 中世後期の東アジア

3年 組 番

※14世紀の情勢

(a) 日本…他国と正式な国交なし 元とは私貿易のみ

<例> 1 ^{ぶね}建長寺船[1325](修理費用：鎌倉幕府)、2 _____ [1342](築造費用：3 足利尊氏・直義)

(b) 4 _____ (5 前期倭寇)…商人・武士の海賊行動 ※「元寇の報復」説あり

時期 14世紀中～後期 **拠点** 6 対馬・壹岐・肥前松浦(三島倭寇)

活動 7 朝鮮半島及び中国北部の沿岸で、人・米・金品などを略奪

…高麗は日本に禁圧要請→効果なし →高麗衰退 →滅亡

(c) 8 _____ の成立[1368]…9 洪武帝(朱元璋)建国 漢民族国家の復活

→10 伝統的国際関係(冊封体制)の復活・私貿易の禁止(11 _____ **政策**)

12 _____ の成立[1392]…13 李成桂が建国 ←

義満の東アジア外交 ※最後の遣唐使(838年)以来560年ぶり

目的 貿易の利益(日本)・倭寇禁圧(明・朝鮮の要請)

【明】 14 _____、15 義満、16 ^{そあ}祖阿(側近の僧侶)、17 肥富(商人)らを派遣

義満は「18 日本准三后」と自称

→1402. 返書に「19 日本国王源道義」 →1403. 「20 日本国王臣源」と自称…明への臣従(21 冊封)

特色 22 _____ 貿易…「朝貢」と「返礼」、滞在費・運搬費は明が負担→大きな利益

23 _____ 貿易…24 勘合を使用(貿易の統制) 25 勘合船(遣明船)とよぶ

本字勘合(日本船)と日字勘合(明船) 26 _____ で勘合の照合→北京で交易

【朝鮮】 義満、国交樹立[1401]

特色 27 対馬の宗氏の統制下

28 通信符や図書(通行証)を使用

頻繁な交易 西国守護大名・商人の参加

沖縄と北海道 (→中世7)

沖縄 29 グスク時代(12～15世紀)→30 山北・中山・山南の3王国→31 中山王32 _____ が統一

…33 _____ 王国[1429] 首都34 首里 35 那覇港(首里の外港)の繁栄

☆琉球貿易…東・東南アジア諸国間の36 _____ 貿易で繁栄(←明の海禁政策)

→衰退(16世紀半ば～)…37 ポルトガル商人の進出と明の海禁政策の緩み

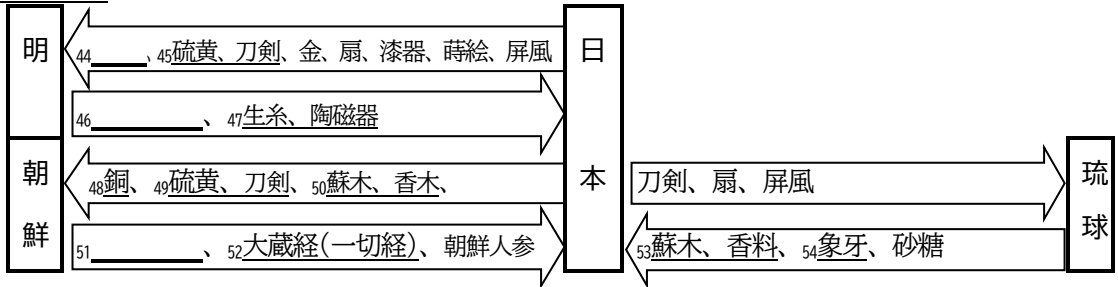
北海道(蝦夷ヶ島) 14世紀頃から 38 和人が南部に進出→沿岸に居留…39 道南十二館 <例>40 志苔館

安藤氏ら、アイヌとの交易で利益 <例>41 十三湊…交易で繁栄した津軽の港町

→次第にアイヌを圧迫→1457. 42 _____ の戦→43 蠣崎氏(安藤氏の代官)により鎮圧

…アイヌ諸部族の蜂起の中心となった大首長

貿易の内容



その後の展開

「明」 15C前半まで 幕府主導(重要な財源)

義満：積極的(6年で6回) → 55 義持：朝貢形式を嫌い義満の死後、56 中止[1411~32]

→ 57 義教：再開[1432~]…以後、ほぼ10年に1回、3隻300人

15C後半以降 実権は有力守護大名・商人に移る

58 _____氏・59 _____商人 ↔ 60 _____氏・61 _____商人

1523. 62 _____ …両者が衝突→大内方勝利→以後、貿易を独占

63 1551. 64 大内氏滅亡 → 貿易は途絶える

「朝鮮」 ☆貿易港：65 _____ (釜山)・66 乃而浦(齊浦)・67 塩浦(蔚山)…68 _____ と総称

☆69 _____ …朝鮮が日本使節接待のため、漢城と三浦に設置 多数の日本人が居留

70 1419. 71 _____ …朝鮮軍による対馬(倭寇の根拠地)襲撃

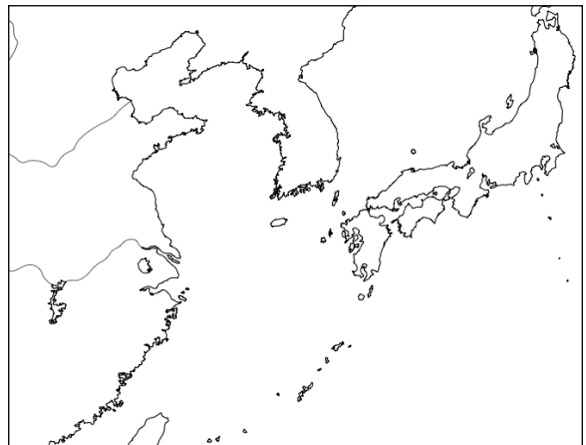
日朝貿易中断 → 1423. 国交回復

72 1510. 73 三浦の乱…三浦の居留日本人の暴動(特権の縮小に反発) → 以後、日朝貿易は衰退

「後期倭寇」 16C後半 中国南部・南海地方で活動 75 明の密貿易者が大半

→ 1588. 76 豊臣秀吉による禁圧(77 海賊取締令)

作業 図表143~144ページを見て、
寧波、漢城、北京、塩浦、富山浦、乃而浦、
琉球を記入しなさい。



時代順問題練習 <大学入試センター2014年B追試験>

- I ザビエルが、大内氏の城下町山口で布教を認められた。
- II 沖縄本島で、グスクを築くような按司とよばれる有力者が現れた。
- III コシャマインの蜂起により、蝦夷地南部の館が陥落した。